

「近畿未利用食品活用協議会」を設立しました 入会受付中です！

近畿農政局は、食品関連事業者の未利用食品の情報をフードバンクへ共有し、宅配事業者とも連携して、三者の取引の円滑化を図ることで食品ロスを削減する取組を開始します。この活動を進めるため「近畿未利用食品活用協議会」を設立しましたので、未利用食品の発生抑制及び有効活用に取り組む食品関連事業者の皆さまにおかれましては、是非、入会をご検討下さい。

未利用食品の有効活用の流れ



未利用食品（製品の品質面では問題ないものの通常の販売が困難である食品）をフードバンクへ提供したいと考えているが、
○どこへ渡したらよいか分からない
○未利用食品を運ぶ手段が無い
○提供した未利用食品についてフードバンクの活用状況が知りたい
といったお悩みのある食品関連事業者におすすめな協議会です。
また、相談窓口を近畿農政局に設置いたしました。お気軽にご相談ください！



窓口：近畿農政局 経営・事業支援部 食品企業課
電話：075-414-9024（直通）
メール：kansai-foodsupportnet@maff.go.jp



協議会への入会希望、
詳細はこちらから！

～フードバンクを通じて食料を受け取った方の声を集めました～

- 食料が届いた日、嬉しくてありがたくて涙が出ました。
種類の多さにもビックリしたと同時に多くの方の優しさあたたかさを感じました。
- 普段買ってあげられないものが入っていて、子ども達（中学生の子）も大変喜んでおります。この笑顔が見れて私も幸せです。
- あれもこれもとたくさん詰まった段ボール。子供も一緒に運んで開けた瞬間、子供も私もニコニコ顔になります。
- 物価高騰につけ食品の購入がとても大変になっております。夏休みに入りおやつなどを減らさざるを得ないなかフードバンクさんに助けられ有難く頂いております。
- 夏休みで朝、昼、夜と食べさせていかないといけない状況で本当に助かっています。子ども達が「人の為に手を差し伸べられる」人となって成長してくれるようにこれからも子育てを頑張っていきたいと思えます。
- たくさんの食料品を送っていただき、ありがとうございました。子ども達と、ひとつひとつ確認しながら「おいしそうだね～。うれしいねえ～」とお話しました。夏休み初日にプレゼントが届き、皆で喜んでおります。家族一同、心より感謝申し上げます。
- 小学校1年生の息子と2人暮らしです。夏休みは毎日朝から夕方まで児童館で過ごし、毎日お弁当になります。近くに家族や頼る人もいない母子家庭なので、段ボールを開けてすごく嬉しい気持ちになりました。

（一般社団法人全国フードバンク推進協議会ホームページより抜粋）



※写真提供：フードバンク滋賀

【お知らせ】フードバンクへの食品提供は 税制上の損金額への算入が可能です！

- フードバンクへの食品の提供が、実質的に企業等の商品廃棄として行われるものであれば、その提供に要する費用を、提供時の損金の額に算入可能。
- 提供に要する費用とは「提供した食品の帳簿価額」を指し、食品の引取費用（配送費等）を企業が負担している場合は、これらの費用も含む。

詳しくはこちらから！（農林水産省ホームページ）→

